

本書の特色

この本は、中学1年生の冬休み前までの学習内容を中心につくられたテキストです。基本的な力をつける問題から、応用・発展的な難易度の高い問題まで盛り込まれているため、これまで学んだことを効果的に身につけることができます。

また、講習準備テストと総合確認テストがついているので、苦手分野の把握や最後の効果測定に役立ててください。

本書の使い方

● **確認問題**……その課の基本的な問題を取り上げています。アドバイスを参考にし解いてみましょう。

● **演習問題**……演習問題Aと、さらに発展的な演習問題Bの二つの問題で構成されています。文章をしっかりと読み取り、設問に取り組むことで、自信をつけていきましょう。また、「思考力問題」には◎をつけています。

● **漢字のトレーニング**……高校入試で頻出の漢字により構成されています。

● **総合問題**……本書の総まとめの問題です。

もくじ

国語中1

1	説明的文章 (1)	2
2	説明的文章 (2)	8
3	説明的文章 (3)	14
4	文学的文章 (1) —— 小説文	20
5	文学的文章 (2) —— 随筆文	26
6	古典	32
7	詩歌	38
8	資料問題	44
	《語句問題》	50
1	漢字の成り立ち・部首	2
2	同音異義語	
3	同訓異字	4
4	熟語の組み立て	
5	類義語・対義語	6
6	四字熟語	
7	ことわざ・慣用句	8
8	故事成語	
	《文法・表現》	54
	総合問題	60

確認問題

☆ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

□(1) ———線①「まったく同じ」とありますが、何が「まったく同じ」だとい
 うのですか。文章中の言葉を用いて、四十字以上五十字以内で答えなさい。

40									

アドバイス

※ まず、「何」にあたる言葉が、前の行の「こうした自然条件」である
 ことを読み取る。

※ 「自然条件」については、第一段落に「乾燥した冷たい風が吹く冬」
 「気温も湿度も高い夏」とある。

※ 「台風や地震」についても述べられていることを踏まえ、指定字数に
 したがってまとめる。

□(2) [A] にあてはまる言葉として最も適切なものを次から選び、記号で
 答えなさい。

- ア 征服 イ 過信
- ウ 推理 エ 認証

[] []

アドバイス

※ 直後の一文の「自然の力には勝てない」に着目する。

□(3) [B] にあてはまる言葉として最も適切なものを次から選び、記号で
 答えなさい。

- ア すなわち イ もちろん
- ウ なぜなら エ ところが

[] []

漢字のトレーニング

- ① 人前で釈明する。
- ② 問題を抱える。
- ③ 矛盾する考え。
- ④ 抱負を語る。
- ⑤ 感涙にむせぶ。

- ⑥ 適切なシヨチ。
- ⑦ 花の香りをかぐ。
- ⑧ 親のイサンを分ける。
- ⑨ スガタを現す。
- ⑩ 計画が水のアワとなる。

- ⑪ 故郷の景色がコイしい。
- ⑫ セイリケンを配る。
- ⑬ 道をアヤマる。
- ⑭ シユウシヨクが決まる。
- ⑮ コウクウ会社。

(樋口清之「梅干と日本刀」より)

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

40 35 30 25

アドバイス

- ※ B の前↓関西地方では、常緑樹や竹を使っているところが多い。
- ※ B のあと↓関東以北では、ケヤキ(≡落葉高樹)が多い。

□(4) ———線②「最初の疑問」とありますが、筆者がこのような疑問をもつようになったのは、関東地方を旅行したときに何を見たからですか。文章中から十二字以上十五字以内で書き抜きなさい。

12									
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

アドバイス

※ 「何」に対応するように、体言で終わる箇所を書き抜く。

- (5) この文章ではどのようなことが中心に述べられていますか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。
- ア 自然を克服する方法。 イ 自然への順応の知恵。
- ウ 西洋文明の恩恵。 エ 常緑樹と落葉高樹。

※ 私たちの祖先の自然への対処法が中心に述べられていることを見抜く。

アドバイス



次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

演習問題 A

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50 45 40 35 30

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(吉田夏彦よしたなつひこ「なぜと問うのはなぜだろう」より)

70	65	60	55
----	----	----	----

□(1) — 線①「発展」の対義語を漢字二字で書きなさい。

--

□(2) X □にあてはまる最も適切な言葉を次から選び、記号で答えなさい。

ア 身も蓋もなく イ 根ほり葉ほり

--

□(3) A □ C □に入る言葉として最も適切なものを次からそれぞれ選

び、記号で答えなさい。

ア いわば イ なぜなら ウ むしろ エ かならずしも

A	B	C	
---	---	---	--

◎(4) — 線②「それは哲学の問題です。科学者の答えることではありません

ん」とありますが、「科学者」がこの「問題」に答えようとしなのはなぜですか。次の文の □ □ にあてはまる言葉を二十五字以内で書きなさい。

・ □ □ ということを説明することができないから。

--	--

◎(5) — 線③「科学の成功の秘密は、……とさえいえるぐらいです」とあり

ますが、「なにもかも答えようとはしない」ことがなぜ「成功」につながったのですか。次の文の □ □ にあてはまる言葉を四十五字以内で書きなさい。

・ □ □ ことで信用のおけるものとなったから。

--	--	--

□(6) — 線④「むやみに」の文章中における意味として最も適切なものを次

から選び、記号で答えなさい。

ア 抵抗を押し切って イ 人の迷惑をかえりみずに

ウ 結果やよしあしを考えずに エ 勝てる見込みもなく

--

□(7) 本文の内容と展開についての説明として最も適切なものを次から選び、

記号で答えなさい。

ア 哲学と科学は同じものだという筆者の結論を初めに提示している。

イ 科学より哲学の方が優れていると最後に結論づけている。

ウ 哲学と科学についてのいくつかの誤解を取り上げ、解きあかしている。

エ 疑問提起や具体例、比喩を用いて、哲学の意義を説明している。

--

☆ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50 45 40 35 30

